授業科目名	看護・医療情報			担当教員	柳井 圭子	
開講年次	2年前期	セメスター	3	時間数(単位数)	15 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	ヘルスケアサービスの実践に必要な情報とは何か、またITを活用した情報管理の実際と課題、情報倫理の考え方と法的根拠について学ぶ。					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> ヘルスケアサービスの実践に必要な情報について説明できる。 ITを活用した情報管理の実際を知り、その課題について述べるができる。 情報倫理の考え方と法的根拠について説明できる。 医療現場での情報の意義を理解したうえで、情報の適正な取り扱いに向けた行動について述べるができる。 					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	本科目は、主要概念の一つである「環境」に位置づけられている。ディプロマポリシーの第一には「人間の尊厳と権利を擁護する力」が掲げられている。看護・医療情報では、情報の適切な取り扱いについて理解し実践できることを目指している。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
	◎		○			
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	看護・医療における「情報」について	講義	予習：医療における情報取り扱いについてニュースや報道等話題を見つけておく。	60分	柳井	
2	高度情報化社会と法ビッグデータの活用	講義	予習：ICTを活用した医療に関してニュースや報道等話題を見つけておく。	60分	柳井	
3	医療情報の取り扱い法と倫理	講義	予習：個人情報保護法に目を通してくる。	60分	柳井	
4	看護情報の活用と秘密保持	講義	予習：看護情報にはどのようなものがあるか調べておく。	60分	柳井	
5	ICTを利用した医療情報の取り扱い(1)事例展開	演習 (GW)	予習：提供した事例に目を通してくる。	60分	柳井	
6	ICTを利用した医療情報の取り扱い演習(2)事例展開	演習 (GW)	予習：提供した事例の問題点を整理してくる。	60分	柳井	
7	ICTを利用した医療情報の取り扱い演習(3)	演習 (発表・討議)	予習：グループで検討した結果について発表準備を行う	60分	柳井	
8	まとめ これからの医療情報の活用と保護について	講義・演習 (討議)	予習：発表資料提出に向けまとめる。	60分	柳井	

先行履修科目	
テキスト	特に指定しない
参考文献	中山和弘：系統看護学講座 別巻 看護情報学. 医学書院, 2012. 金谷孝之・服部建大：基礎から学ぶ医療情報. 共立出版, 2014. 中村健壽・森由紀：医療従事者のための情報リテラシー. 日経社, 2015. 宮川祥子・藤井千枝子：情報科学. ニューヴェルヒロカワ, 2008.
評価方法	授業への参加度（20%）、プレゼンテーションの内容（20%）、レポート（60%）を総合して評価する。
メッセージ	高度情報化社会は、医療のかたちも変えようとしています。将来、ビッグデータの活用によって効果的・効率的な医療を提供できるでしょう。また医療者とのアクセスは ICT を介して行うことになり、医療施設ではなく住み慣れた場で最期を迎えるまで療養を迎えることも可能になるでしょう。看護の対象である人は膨大で様々な情報から成り立っています。その情報を適切に取り扱い、医療の専門的知識と技術で対応するためにも、情報とは何か、どのように利活用していけるのか、本授業で考えてみましょう。そのためには安全で信頼ある情報の取り扱いが基本となります。情報の利活用そして適切な保護、この両者を兼ね備えた適正な取り扱いについて学びます。